

事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 発達支援センター大野城



○事業所名	COMPASS発達支援センター大野城			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	令和7年9月10日		～	令和7年10月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月18日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。各担当者が会議や勉強会をおこない、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れ、計画書や日々の療育に反映しております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会を実施しております。複数の地域に事業所があるため、不明な点は指定権者に確認をおこない、法令に沿った事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通所できる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通所できる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	運動面・巧緻性・ソーシャルスキルトレーニングなどを目的とした、個別および小集団での活動に取り組んでおります。	アセスメントをおこなったうえで、実際の関わりを通じて児童の状況を把握し、個々に応じた支援をおこなっております。 小集団活動の中で、他者との関わりや協調性なども学べるよう支援しております。	学校と連携し、学習面や情緒面のフォローにも取り組んでまいります。
3	児童一人ひとりの特性に合わせて、学習への取り組みや新しい単元へのフォローを実施しております。	それぞれの能力や課題に応じて工夫した支援をおこない、学習内容の習得につながるよう支援しております。	児童自身の自発的な意欲を引き出し、児童同士の自然な関係性が育まれるような環境作りに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在は一時的に言語聴覚士が不在となっております。	国の制度のもと、一時的に休暇をいただいております。	令和8年度は充実した体制で言語発達支援をおこなう予定です。また、職員間で言語発達支援に関する共通理解を深めながら、児童一人ひとりの発達段階に合わせた支援をおこなっております。
2	感染予防等の影響により、保護者様同士が交流できる機会が少なく、ご家庭間のつながりを深める場が限られております。	感染予防対策の影響により、保護者会や行事などの対面交流を控えてきたことが要因の一つと考えております。また、送迎時の時間的制約から、保護者様とゆっくりお話しする機会が限られていることも背景にございます。	感染状況を考慮しながら、少人数での情報共有の場を段階的に設けるなど、保護者様が安心して参加できる形で交流機会の創出に努めてまいります。併せて、お便りやオンラインツールなどを活用し、ご家庭と事業所がより密に連携できるよう工夫してまいります。
3	活動内容によっては支援スペースの確保が難しい場面があり、動線や備品配置の工夫が課題です。 今後は環境調整を進め、安全で安心できる活動環境の充実を図ってまいります。	支援室の広さではありますが、活動内容によってはスペースの使い方に工夫が必要な場面もあります。 今後はレイアウトや備品配置を見直し、より安全で快適な環境作りに努めてまいります。	動線やレイアウトの見直しをおこない、安全で快適に過ごせる環境作りを進めてまいります。 また、備品配置や管理方法を工夫し、職員全体で効率的な支援が行えるよう取り組んでまいります。

